

お客様用



この商品は専門業者による交換取付が必要です。
交換取付は、お客様自身で行わず、必ず専門業者にご依頼下さい。取付不備により製品本体に不具合が生じ怪我や物品の破損につながる場合があります。
当社では責任を負いかねますので、取付には充分ご注意下さい。

クローゼットドア部品説明書

クローゼットドア
上部吊り車・下部ランナー

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口

フリーダイヤル

0120-813-331

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよく読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

必ずお守りください 安全に正しくお使いいただくために



安全上のご注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工される方の傷害並びに住まれる方の傷害、または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

- ！扉の取り外しや取り付け作業は2人以上でおこなってください。扉によっては重量が約30kgあります。
- ！扉の取り外しや取り付けの際に、指をはさまないように、十分にご注意ください。
- ！扉の取り外しの際に、床にキズを付けないように、毛布などで床に養生してください。
- ！取り外したビス類は、紛失しないよう注意してください。
- ！吊り車と吊カップの締結は、確実にこなってください。
- ！作業場所周辺は、十分な空間を確保すると共に、壁面・床面・枠材などの養生にも充分ご配慮ください。



必ず守ってください

- ・上レールの固定はインパクトドライバーを使用しない。
上レールの固定に際し、インパクトドライバーを使用すると基材に割れが発生したり、ビスが空回りしてレールや扉が落下する原因となります。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

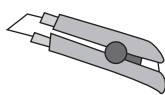
交換作業の流れ

①扉取り外し ➡ ②レールの取り外し ➡ ③部品交換 ➡ ④レール取り付け ➡ ⑤扉取り付け

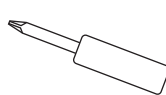
ご用意頂く道具や備品



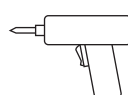
かなづち



カッター



手回しドライバー



電動ドライバー



マット等(敷物)

手回しドライバー・電動ドライバー・マット等の敷物や作業補助具(養生等に使用します)

※レール再取り付け時のビスの保持力を確保するため、埋め木(5mmφ×20mm程度の木片)・接着剤をご用意ください。
(3ページ目の⚠注意欄参照)

① 扉を取り外してください

〈ソフトアート(チェルド・オーク)の場合〉



ビス(扉本体を連結するビス)は、必ず、下のビスからゆるめてください。

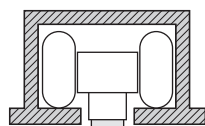
先に上のビスをゆるめると、下のビスをゆるめている間に扉が倒れてくるおそれがあります。

下レールがある場合と無い場合がございます。

下レールがある場合は、下記の図のように、先に下のビスをゆるめて下さい。

下レールがない場合でも、たて枠側下部に固定ビスがありますので先に、下のビスをゆるめてください。

(2000年～2009年)



スパナが入ります

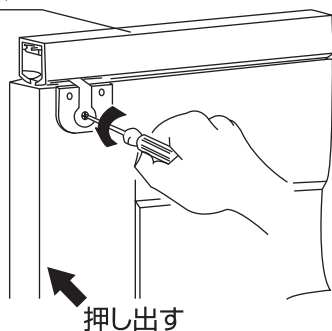
金色のビス(小)…触れないでください。

黒い大きなビス(大)
扉本体を連結するビス…こちらをゆるめて、
扉本体をゆっくり前方へ
押し出すと外れます。

※取り付け年代が2000年以前の
場合はソフトアート/ジュピーノの
区別はなく以下の写真のような
吊り車となります。ソフトアートの
場合と同様、連結ビスをゆるめて、
扉を取り外してください。



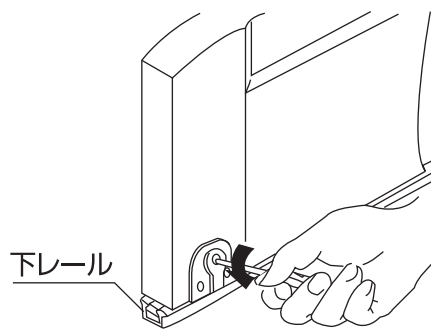
上レール



吊り込みビスを
ゆるめます。

押し出す

(下レールがある場合)

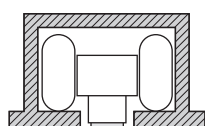


吊り込みビスを
ゆるめます。

下レール

〈ジュピーノ(無垢タイプ)の場合〉

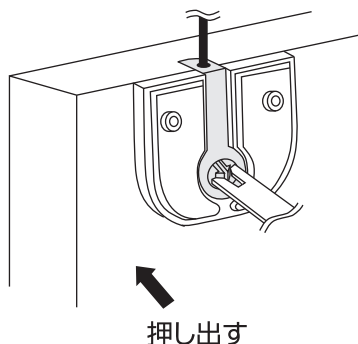
(2000年～2009年)



スパナが入ります

ワンタッチ式に
なっております

[取りはずし方]



① 専用スパナ(ZY1340)か、先の細いペンチ等で矢尻をはさみ込みます。

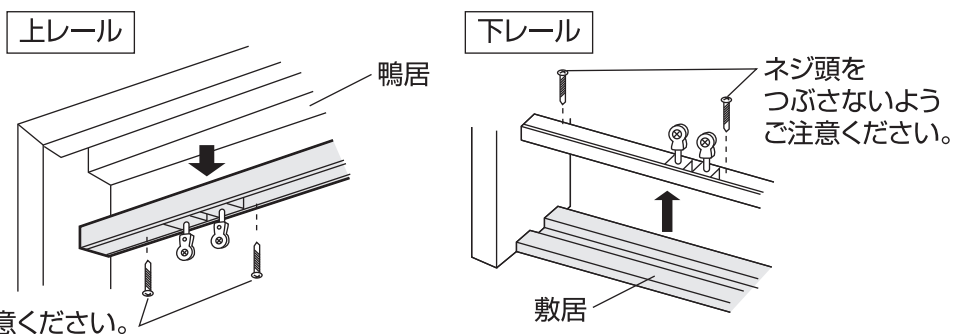
② ①の状態を保ちながら扉本体をゆっくり前方へ押し出すとはずれます。

※下レールがある場合は、上部の吊り車と同様にして下部のガイドランナーを扉からはずします。

② レールの取り外し

手回しドライバー等でビスを取り外しレールを壁枠より取り外してください。

※レールの取り外しの際は金具の落下にご注意ください。



ネジ頭をつぶさないようご注意ください。

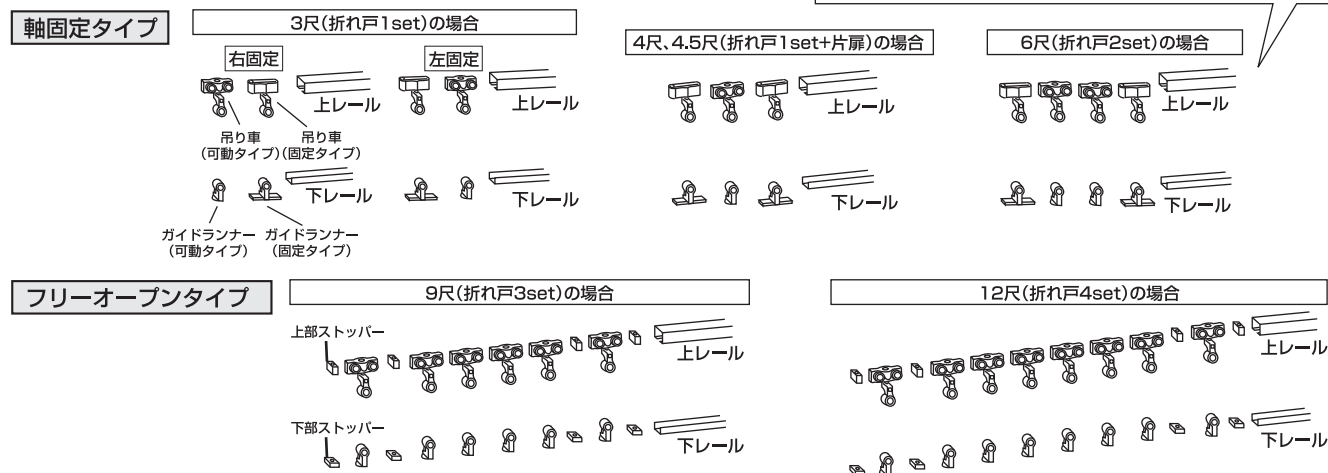
③ 部材のレールへの挿入(上部吊り車・下部ガイドライナー等)

レールを取り付ける前に、必ず両端のストッパーを仮止めしてください。

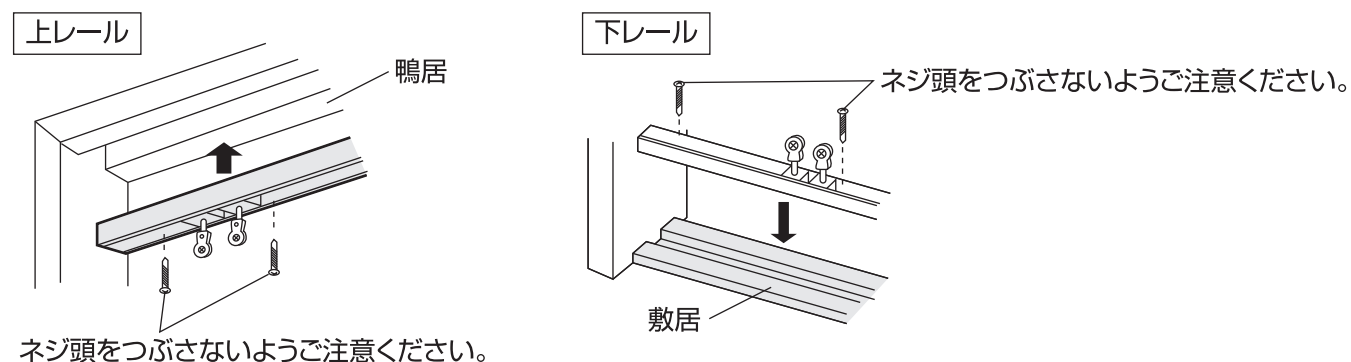
●フリーオープン 開戸用金具
●軸固定 固定扉用金具

上下金具とも角面を枠(躯体)側に向けて取り付けます。

枠(躯体)側



④ レールの取り付け



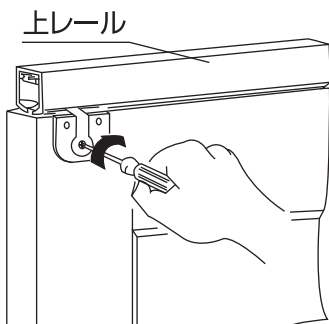
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、ネジ穴には、接着剤を付けた埋め木(5mmφ×20mm位の木片)を入れてください。埋め木はかなづち等で軽く叩きこみ、埋め木の頭が出ている時は、カッター等で削りとってください。埋め木(5mmφ×20mm位の木片)と接着剤は、お客様にてご用意ください。尚、必要数量は間口の広さにより異なりますが、最大20個程度となります。

⑤ 扉を取り付けて(吊り込んで)ください

〈ソフトアート(チェルード・オーク)の場合〉

(1) 吊り車の取り付け



⚠ 必ず、上部から固定してください。

吊り車を扉に合わせ
吊り込みビスで固定します。

※取り付け年代が2000年以前の場合は以下の上部ストッパー、下部ストッパーが付きません。ストッパーのセット方法は下記をご参照ください。

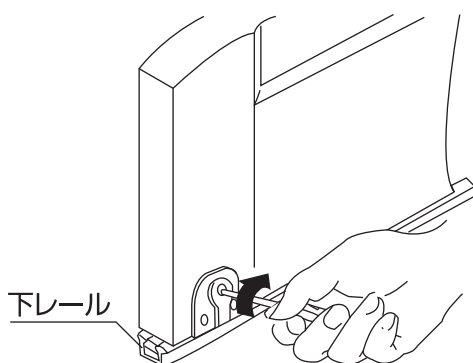
上部ストッパー



下部ストッパー



(2) ガイドランナーの取り付け(下レールがある場合)



ガイドランナーを扉に合わせ
吊り込みビスで固定します。

下レールがない場合でも、
たて枠側下部の金具の固定ビスを
お締めください。

⚠ 注意

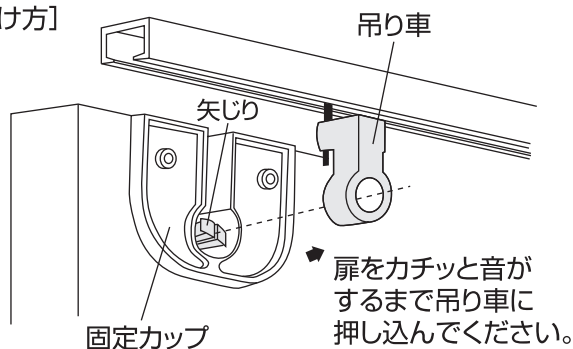
吊り込みビスの締め忘れ、ゆるんだ状態での開閉は扉の脱落の原因になりますので、必ず吊り込みビスは確実に
お締めください。

〈ジュピーノ(無垢タイプ)の場合〉

ジュピーノクローゼットの吊り車

ジュピーノクローゼットの吊り車はワンタッチ取り付け方式です。
下記の点にご注意ください。

[取り付け方]



⚠ 必ず、上部から固定してください。

下部ガイドランナーも同様にに取り付けてください。

《ストッパーのセット方法》

左右両端のストッパーを壁柱と隙間がないように、上下とも固定します。
※軸固定専用の場合は、固定用の吊車とガイドランナーを壁柱と隙間のないよう固定します。

吊元固定の場合

吊元側の吊り車とガイドランナーをストッパーではさみ込み固定します。
(吊元フリーの場合は固定しません。)

3枚扉(折れ戸+片扉)の場合

開き側の吊り車とガイドランナーをしっかりと固定します。

